

令和 7 年(2025 年)11 月 12 日

うもれぎのや おおく ぼ はる お
埋 木 舎 主 当 主 の 大 久 保 治 男 氏 から
ひこ ね はん おおく ぼ け もん じょ
「彦根藩大久保家文書」(1,355 件)が寄贈されました
彦根市長より大久保氏への感謝状の贈呈式を行います

令和 7 年(2025 年)10 月 8 日、埋木舎(彦根市尾末町)のご当主である大久保治男氏から彦根市(彦根城博物館)に「彦根藩大久保家文書」をご寄贈いただきました。あわせて、感謝状の贈呈式を行いますのでお知らせします。

記

1 資料の寄贈者

大久保治男氏

昭和 9 年 5 月 9 日生(満 91 歳)

彦根藩士大久保孫左衛門家の子孫

埋木舎当主

駒澤大学名誉教授(専門は日本法制史)

東京都文京区在住



平成 26 年瑞宝中綬賞受賞時

- *埋木舎は、井伊家 13 代直弼が青年時代を過ごした井伊家の庶子屋敷です。明治 4 年(1871)、当時の大久保家当主であった員好が、井伊家から埋木舎を拝領しました。以降、大久保家は、埋木舎伝来の古文書を守り続け、平成 3 年(1991)からは修復を終えた埋木舎の一般公開を行っています。
- *令和 4 年の 5,832 件の寄贈に引き続き、今回、2 回目の寄贈となります。

2 寄贈資料の概要

資料名：彦根藩大久保家文書

件 数：1,355 件

年 代：江戸時代～昭和戦前期

伝 来：

旧彦根藩士である大久保孫左衛門家に伝来した古文書です。大久保孫左衛門家は、大久保新右衛門家からの分家で、初代員元が貞享 3 年(1686)に井伊家 4 代直興の小姐に召し出されて以後、6 代に渡り井伊家に仕えました。明治以後も、6 代目員好

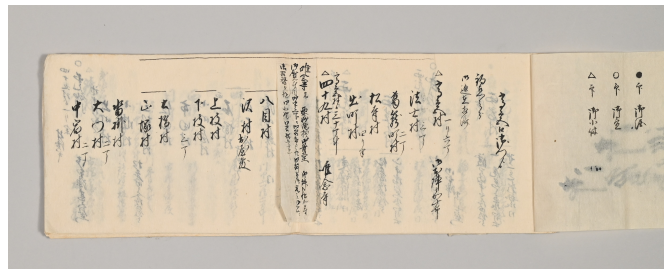
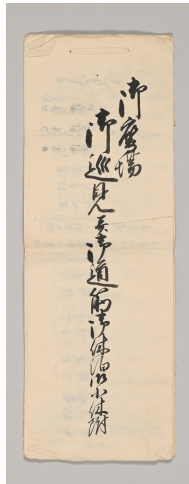
が明治 35 年(1902)まで、その子の員^{かずおみ}臣が昭和 10 年(1935)まで、井伊家の職員として勤めました。員好は、藩から焼却処分を命じられた井伊直弼関連文書(彦根城博物館が所蔵する重要文化財彦根藩井伊家文書の一部)を明治時代半ばまで密かに守り、同文書が現在に伝来するうえで大きな貢献を果たした人物としても知られています。

内 容：主たる内容は以下の通りです。

(1)江戸時代に同家当主が務めた役職に関するもの

主な資料として、5代目員^{かずやす}毗や6代目員^{そばやく}好が務めた側役(藩主やその子弟の側近く仕える役)や小納戸^{こなんどやく}役(藩主側近で、藩主所用の道具を管理する役)、鷹頭取^{たかとうどりやく}役(鷹狩りに関する役職を統括する役)に関する文書があります。当主に仕えた側近の実務を詳細に知ることができます。

〈特徴的な資料〉



おたか げ ご じゅんけんならびにおんみちすじ ご きゅうはく ご しょうきゅうつけ
御鷹場御巡見 井 御道筋御休泊御小 休附 (嘉永 7 年 [1854])

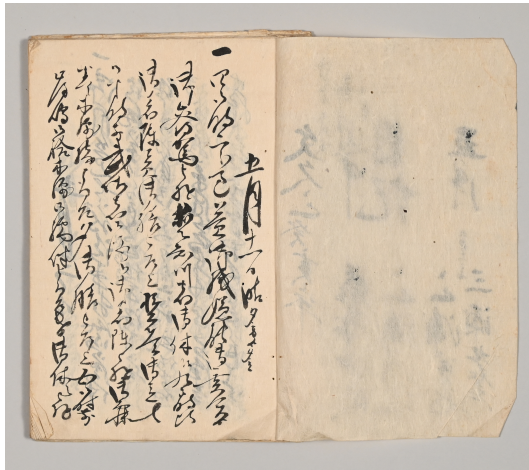
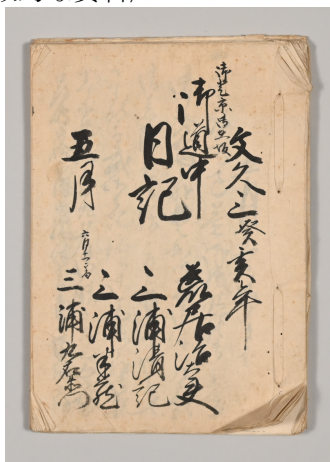
井伊家は、徳川家から近江^{おうみ}国(滋賀県)一国と山城^{やましる}国淀^{よどつみ}堤(京都市伏見区)の鷹場を与えられたと認識していました。井伊直弼はこの鷹場を巡見するために、嘉永 7 年 10 月 27 日に彦根城を発ち、中山道を通り、淀に赴きました。大久保員好は直弼の側近として同行しました。この資料には、道中で直弼が通った村の名が記され、宿泊した場所には「●」印、昼休みの場所には「○」印、小休をしたところには「△」印が付されており、直弼の巡見の行程がわかります。その他、唯念寺のある四十九院村(彦根市)で実母である要妙^{ようみょういん}院の御骨堂を参拝した記事があるのも興味深い点です。

(2)幕末維新期の政治情勢や井伊家の活動に関するもの

水戸藩や九条家など幕府や朝廷の情報を収集した文書や、外国船についての報告を記した文書などがあります。幕府内外での政治抗争や欧米列強への対応の中で作成・収集されたものと考えられます。また、大久保員好が側近を務めた井伊家 14

代直憲が京都や大坂、第二次長州戦争に出兵した際の記録や、明治天皇に供奉して東京へ行った際の記録など、井伊家当主の具体的な動向を知ることができます。

〈特徴的な資料〉



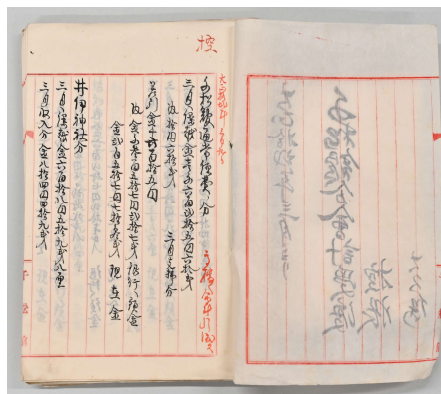
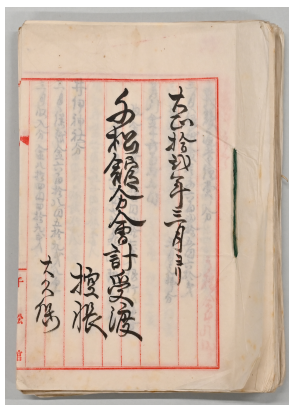
御登京・御在坂道中日記（文久3年〔1863〕5月）

文久3年5月11日に彦根を出立、京都、大坂、堺へ向かい、6月に堺から大坂へ戻るまでの井伊直憲の道中を記した日記。表紙に名前のある4人は日記の作成者であり、直憲の側近くに務めた小納戸役です。当時の彦根藩は、この上洛を挟み、幕府の命により、横浜、大坂、堺で沿岸警衛にあたっていました。直憲が道中で休憩や宿泊をした場所、食事の際の着物など、直憲の行動の詳細を知ることができます。なぜ小納戸役作成の本資料が大久保家に伝来したのかは不明ですが、大久保員好が直憲の附人を務めていたことに関わって入手したのでしょうか。

(3) 明治期以降の井伊家の活動や千松館の運営がわかるもの

大久保員好（明治元年に章男と改名）とその子の員臣は井伊家の職員として、井伊家の彦根における出先機関である千松館（彦根市松原町）に勤めました。その勤務の過程で作成された千松館の出納帳や会計簿、東京の井伊家の職員からの書簡などが伝わり、明治期以降の井伊家の活動や千松館の運営の実態がわかります。

〈特徴的な資料〉



せんしょうかんぶんかいけいうけわたしひかえちよう**千松館分会計受渡控帳(大正12年〔1923〕3月)**

明治4年(1871)に井伊家が東京に本邸を移した後、彦根における出先機関となった千松館の会計記録。井伊家家職であった大久保員臣が作成しました。大正12年から昭和7年(1932)までの分が綴じられ、2か月ごとに繰越金・収入・支出額を計算し、その残額が記されています。千松館での大正から昭和期における収支経営状況を知ることができる貴重な資料です。

以上のとおり、「彦根藩大久保家文書」は、江戸時代の当主側近の役割や、幕末維新期の井伊家当主の動向を知ることができるほか、近代における井伊家の活動を知ることができます。江戸時代に加え、近代以降の井伊家や彦根の歴史を研究するうえで非常に重要な文書群です。

3 寄贈を受けた日

令和7年(2025年)10月8日

4 感謝状贈呈式の日時および場所

(1) 日 時：令和7年(2025年)11月15日(土)午前10時～11時

(2) 場 所：彦根城博物館(彦根市金亀町1番1号)講堂

(3) 次 第：

①10時～10時30分

感謝状贈呈【田島一成市長から大久保忠治氏へ感謝状の贈呈】

出席者 大久保忠治氏、田島一成市長、井伊岳夫彦根城博物館長

※大久保治男氏はご高齢のため、ご子息の忠治氏が代理でご出席されます。

②10時30分～11時

インタビュー等取材

出席者 大久保忠治氏、井伊岳夫彦根城博物館長

5 関連事項

(1) 「彦根藩大久保家文書」の彦根市指定文化財への指定

令和7年10月20日付、彦根市告示第233号にて、彦根城博物館に寄贈された「彦根藩大久保家文書」のうち江戸時代の文書である6,207件が彦根市指定文化財に指定されました。

(2) 特集展示「彦根藩大久保家文書―彦根藩研究の一級資料―」の開催

「彦根藩大久保家文書」の彦根市指定文化財指定を記念して、その一部を特集展示「彦根藩大久保家文書―彦根藩研究の一級資料―」にて公開します。感謝状贈呈式当日も開催していますので、あわせてご覧ください。

- ① 会 期: 令和 7 年(2025 年)11 月 7 日(金)～令和 8 年(2026 年) 1 月 13 日(火)
午前 8 時 30 分～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

*期間中、12 月 16 日(火)、12 月 25 日(木)～31 日(水)は休館、
12 月 8 日(月)・9 日(火)は部分休室。

- ② 会 場: 展示室 6

- ③ 展示作品: 別添リストの 15 件

- ④ 観 覧 料:

一 般	700 円 (560 円)
-----	---------------

小・中学生	350 円 (280 円)	* () 内は 30 名以上の団体割引料金
-------	---------------	------------------------

*常設展「“ほんもの”との出会い」も併せてご覧いただけます。

※本件につきましては、感謝状贈呈式の前日にあたる「令和 7 年 11 月 14 日市長定例会見」において、市長から詳細を説明いたします。

問い合わせ先

彦根城博物館 学芸史料課

担当: 竹内 ^{たけうち みつひき} 光久

電話: 0749-22-6100

FAX: 0749-22-6520

メール: museum@mx.hikone.ed.jp

特集展示「彦根市指定文化財指定記念 彦根藩大久保家文書—彦根藩研究の一級資料—」

■展示リスト■

展示番号	資料名称	数量	作成時期	差出人・作成者	宛名
側役・小納戸役に関する古文書					
1	木俣土佐書状 側役衆宛	1通	年未詳1月10日	木俣土佐	御側役衆
2	受取書 小納戸役宛	3通	年未詳3月晦日 ほか	—	御小納戸
3	井伊直元書状下書	1通	年未詳5月6日	井伊直元	中將(井伊直中)
4	御鷹場御順見井京都御立寄日記	1冊	嘉永7年(1854)10月	—	—
鷹頭取役に関する古文書					
5	御鷹頭取勤向諸事留	1冊	万延元年(1860)5月	大久保員好	—
6	鷹頭取書状	1通	年未詳3月1日	鷹頭取	林久五郎・金子織兵衛・山口善九郎
7	鷹場見廻届書継	一括	年未詳9月	—	御鷹頭取中
8	御鷹頭取中宛請書一括	一括	年未詳12月	松居磯右衛門ほか	御鷹頭取中
井伊直憲の附人としての活動を示す古文書					
9	愛鷹様附人就任誓詞	1通	安政4年(1857)3月5日	大久保小膳	—
10	御直書御案文下書写	1冊	安政4年(1857)	大久保小膳	—
11	大久保小膳日記	1冊	慶応2年(1866)6月	大久保小膳	—
彦根藩井伊家に伝来したはずの古文書					
12	松平肥前守書状	1通	年未詳2月21日	鍋島斉正	井伊掃部頭
13	某風聞書	1通	年未詳11月16日	—	—
軍学や能楽に関する古文書					
14	城取巻 ほか	8冊	年月日未詳	—	—
15	能楽免状	1通	寛保2年(1742)5月10日	(幸)五郎次郎	大久保孫左衛門

※差出人・作成者および宛名が未詳のものは「—」としています。